



2025年2月26日

各 位

## 北浜キャピタルパートナーズ株式会社との戦略的業務提携に関するお知らせ

当社は、2025年2月19日付「[「長期ビジョン・中期経営計画」に関するお知らせ](#)」にて既報のとおり、WEB3.0 コングロマリット企業への変貌に向けて、最重要 KPI の一つとして WEB3.0 支援先 500 社の達成を実現すべく、北浜キャピタルパートナーズ株式会社（証券コード：2134 以下、「北浜キャピタル」といいます。）への WEB3.0 ソリューション支援を決定し、戦略的業務提携を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。



北浜キャピタルパートナーズ株式会社  
Kitahama Capital Partners Co., Ltd.



北浜キャピタルパートナーズ株式会社：<https://kitahamabank.co.jp/>

### 1. 本業務提携締結の背景

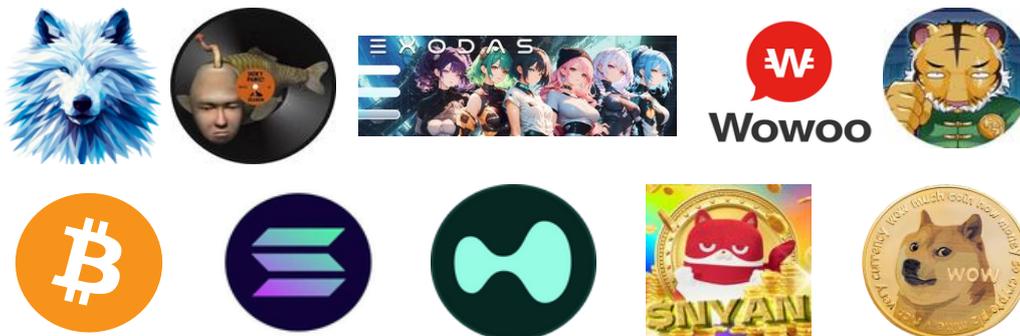
当社グループは、不動産・金融事業を祖業とし、M&A を通じた様々な新規事業を立ち上げていくなかで、WEB3.0 領域を最重要成長ドメインと定義し、WEB3.0 コングロマリット企業へと変貌を遂げるべく、日々、事業を推進しております。

北浜キャピタルは、不動産の開発・販売、ゴルフ場運営等、ハードウェアを中心とした設備ビジネスに強みを有する一方で、コンシューマー向けのソリューション開発に課題を抱えておりました。

当社グループは、いわゆる BtoC の事業領域に携わる事業会社を有していながら、それら事業を WEB3.0 に転換するトークナイズ事業を積極推進している渦中であり、当社自身のみならず、当社取引先を含む企業パートナーを GFA エコシステムの重要機能として捉えており、今般、北浜キャピタルに対して、当社が WEB3.0 ソリューションを提供し、同社のコンシューマー向けソリューションの開発に貢献をすべく、今般、本業務提携を締結することとなりました。

## 2. 本業務提携の内容について

当社グループは、北浜キャピタルに対して、以下の項目を中心に支援を行い、項目ごとに業務報酬を頂戴し、当社グループの支援のもと、北浜キャピタルに対してコンシューマー向け WEB3.0 プロダクト/サービスを提供していきます。



- 「NYANMARU COIN」を始めとするミームコインの優待提案
- 「NYANMARU COIN」を始めとするミームコインのディーリング提言
- にゃんまるエコシステムを活用した逆有償型広告サービスの提供
- 北浜キャピタルの取引先に対するトークナイズ支援
- 当社パートナーと連携して、北浜キャピタルの有する不動産を活用した RWA 化の支援
- 北浜キャピタルのコンシューマー向けオリジナルサービス開発に向けたコンサルテーション
- 北浜キャピタルへの資金調達支援、トークン活用エコシステム構築支援
- その他、付随する業務

当社は現在、bitcoin(\$BTC)やSolana(\$SOL)などのメジャー通貨を戦略的準備資産としながら、NYANMARU Coin(\$NYAN)をはじめとする有力なミームコインにも投資を行っています。

今後も有力なトークンには投資を続けながら、一般ユーザーにも浸透させるために、インデックスやETFの組成を行い、多くの投資家を呼び込むことを目指しております。

## 3. 今後について

当社グループは、2025年2月19日付「長期ビジョン・中期経営計画」に関するお知らせにて既報のとおり、WEB3.0 コンサルテーション/開発支援社数500社、支援先保有暗号資産総額1兆円、ビットコイン21,000枚の保有を3年スパンで立案しており、当社の支援するWEB3.0事業の過程において成長通貨のスワップを経由して割安で取得することを特徴としております。

今般の業務提携が、当社の掲げる WEB3.0 コングロマリット企業への変貌に貢献すべく、お客様先・お取引先様への丁寧な支援を継続し、「NYANMARU COIN」を中心とした WEB3.0 エコシステムを実現していきます。

なお、本件が当社の連結業績等に与える影響はございません。

■GFA 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

当社については、『金融が未来に変化を起こす！』をテーマにメタバースや金融事業を中心に、あらゆる顧客の資金需要を即時解決するとともに、SDGs を重視しながら、世界に存在意義のある事業の創造にコミットメントする会社を目指しています。

多分野に広がる当社のグループ企業のネットワークから、金融事業にフォーカスしたノウハウを集め、個人・法人問わず顧客ニーズに柔軟性ある確かな答えを提供していきます。

以上